

1970年以降、王子グループはさまざまな分野で海外展開を進めてきました。このコーナーでは、世界各国で事業活動を拡大させてきた各社の挑戦を紹介します。記念誌第3弾では、1992年から2010年にかけて設立された次の4社を紹介します。

- 1 1990.12 設立 **GS Paperboard & Packaging Sdn Bhd** マレーシア
- 2 1998.09 設立 **PT. Korintiga Hutani** インドネシア
- 3 2003.09 設立 **江蘇王子製紙有限公司** 中国
- 4 2010.09 設立 **Oji Asia Packaging Sdn Bhd** マレーシア



since 1990

GS Paperboard & Packaging Sdn Bhd (GSPP) マレーシア

東南アジア地域における事業展開に向けた最重要拠点

1980年代から90年代にかけてマレーシアでは段ボール原紙の供給が不足しており、市場の拡大のためにGSPPが設立された。1992年にPM1が稼働し、マレーシアでの段ボール原紙の製造・販売を開始。1997年には2台目の段ボール原紙マシンPM2が稼働し、生産量は2台計で年産30万トンまで増加した。2000年には川下の段ボール加工事業にも進出、同じ敷地内に段ボール工場PP1、翌2001年にはマレーシア北部のペナンでPP2が稼働し、原紙から加工までの一貫生産体制を確立、リーディングカンパニーに成長した。

2010年4月、王子グループの東南アジア展開の重要かつ戦略的な拠点として王子製紙により買収され、王子グループの一員となる。

GSPPは地域社会への雇用機会の創出や関連するサプライチェーンにおける地域経済の向上に重要な役割を果たしてきた。今後も企業としての社会的責任を積極的に果たしながら、持続的な成長を遂げていく。



●PP1内部 ●PM3の段原紙初ロールの記念写真 ●GSPP外観 ●PM3新マシン

会社概要

会社名
GS Paperboard & Packaging Sdn Bhd (GSPP)

事業内容
板紙・段ボールの製造・販売

設立年
1990年(2010年王子グループ参画)

所在地
マレーシア中部/セランゴール州:板紙・段ボール工場 (PM, PP1, PP4)
/クラン:段ボール工場 (PP3)
マレーシア北部/ペナン:段ボール工場 (PP2)
ミャンマー/ヤンゴン北部:段ボール工場 (Oji GS Packaging (Yangon)) (OGPY)

沿革

1990年 GS Paperboard & Packaging Sdn Bha (GSPP) 設立

1992年 PM1 (セランゴール/製紙工場 No.1抄紙機) 稼働

1997年 PM2 (セランゴール/製紙工場 No.2抄紙機) 稼働

2000年 PP1 (セランゴール/段ボール工場) 稼働

2001年 PP2 (ペナン/段ボール工場) 稼働

2010年 王子グループによる買収

2015年 OGPY (ミャンマー/段ボール工場) 稼働

2016年 Dazun社を買収、PP3 (マレーシア中部/段ボール工場) 稼働

2021年 PM3 (セランゴール/製紙工場 No.3抄紙機) 稼働

2022年 PP4 (セランゴール/段ボール工場) 稼働

since 1998

PT. Korintiga Hutani (KTH)

インドネシア

インドネシアの植林事業・木材資源の多角的活用を目指して

インドネシアの韓国系財閥コリンドグループ（以下コリンド）は、2009年、同グループが手掛ける植林事業への共同運営者を求めている。海外植林の拡大を進めていた王子は、植林強化やチップ輸出のための設備投資などをコリンドと合意し、2010年に事業参画に至った。

KTHは、地域住民との共同植林や事業地内への学校や診療所の運営、保護区内に生息するオランウータンの保護活動をNGOとともに実施する等、地域社会の経済面・環境面への貢献努力も継続している。今後もこれらを大切にしながら、植林資源の高付加価値化により事業価値を高めていく。



①KTH Munara Duaからの眺望②バイオマス発電所③ナタイ木材加工工場④チップ船への沖積み荷役⑤オランウータンの保全活動も行う

会社概要

会社名
PT. Korintiga Hutani (KTH)

事業内容
植林事業

設立年
1998年(2010年王子グループ参画)

所在地
インドネシア

沿革

1998年 コリンドグループによりPT Korintiga Hutani (KTH)設立、植林開始

2010年 王子グループ参画

2013年 チップの生産・輸出開始

2017年 王子HDが株式を追加で取得(王子が60%)

2022年 同上(王子が80%)

since 2003

江蘇王子製紙有限公司

中国

「本籍日本のアジア国籍企業」を目指して

2003年、王子製紙は「南通プロジェクト」を発表。「本籍日本のアジア国籍企業」を目指す王子グループは、アジア地域における本格的な事業展開を目指し、中国での紙パルプ一貫工場の建設を決定した。工場用地としては、江蘇省南通市経済技術開発区を選定。長江沿いにあり、紙を生産する上で不可欠な水の確保が容易、原料を運ぶチップ船をそのまま接岸させることが可能、巨大マーケットである上海に近く、中国沿岸部のほぼ中央に位置するため製品輸送にも便が良い等、数多くのメリットを備えていた。

2003年、「王子製紙(南通)有限公司」を独资で設立し、2006年にパルプの生産までを含めた一貫生産体制の認可を取得。2007年、中国法規上の事情により中国企業との合併が決定し(中国側出資比率10%)、「江蘇王子製紙有限公司」に社名変更した。2011年7月には、塗工紙・上質紙生産設備(PM1)が営業運転開始。江蘇王子製紙有限公司は、今後お客様のニーズを捉え、成長を続けて行く。



①江蘇王子製紙・南通工場全景②2010年、専用バースにパルプ船初入港③2013年、専用バースにチップ船初入港④2010年、PM1の塗工紙初ロールの記念写真

会社概要

会社名
江蘇王子製紙有限公司

事業内容
塗工紙および上質紙、パルプ、家庭紙、紙おむつの製造・販売

設立年
2003年

所在地
中国

沿革

2003年 王子製紙(南通)有限公司設立(王子製紙100%)

2007年 合併会社に改組(江蘇王子製紙有限公司(王子製紙90%、開発区総公司10%))

2011年 PM1営業生産開始

2015年 パルプ生産設備営業生産開始

2020年 TM1・2営業生産開始

2021年 パルプ生産設備増強工事完成

since 2010

Oji Asia Packaging Sdn Bhd

マレーシア

東南アジアの地域統括会社の設立

2010年9月、成長の著しい東南アジアでの積極的な事業展開を進めるにあたり、同年4月に王子製紙の子会社となっていたマレーシアのGS Paper & Packaging (以下GSPP) 社の構内にOji Paper Asia Sdn Bhd (以下OPA) が設立された。OPAは東南アジアにおける地域統括会社として植林・チップ事業、段ボール原紙・加工事業、機能材事業等、既存事業の有機的な連携を図ること、新たなビジネスチャンスを発掘することを目的に現地での業務を開始した。

2014年4月、東南アジアにおける既存事業の管理・運営および新規事業開発に関するガバナンス体制の見直しのため、地域統括業務を産業資材事業群とそれ以外の事業群に分割する組織改編を実施。OPAはOji Asia Packaging Sdn Bhd (OAP) に社名を変更し、産業資材カンパニーの下で段ボール原紙・パッケージング分野に特化した事業管理・技術支援および新規事業開発を行う体制となり、産業資材事業群以外については、Oji Asia Management Sdn Bhd (OAM) を新たに設立した。

新生OAPは、その後も東南アジア・インド地域において増大するパッケージング需要に応えるべく事業の拡大・強化に取り組んでおり、2023年6月現在で7か国(マレーシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマー、インドネシア、インド)・計31拠点で段ボール原紙、段ボール・紙器事業を展開している。



●2015年、定期的に行っている東南アジア会議の様子●OAP事務所 (GSPP構内)

会社概要

会社名
Oji Asia Packaging Sdn Bhd

事業内容
産業資材カンパニー所管の
東南アジア事業群の地域統括本社

設立年
2010年

所在地
マレーシア セランゴール州 (GSPP構内)

沿革

2010年 Oji Paper Asia Sdn Bhd (OPA) 設立

2011年 United Kotak Bhd (マレーシア) 買収、HPI Resources Bhd (マレーシア・カンボジア) 買収

2013年 OPA (Myanmar Branch) 設立

2014年 Oji Asia Packaging Sdn Bhdへ社名変更、Oji Asia Management Sdn Bhd(OAM)設立

2015年 OJI GS Packaging(Yangon)設立